

総合防災訓練が行われました

9月7日、花咲港東埠頭マイナス10m岸壁背後地を会場に、根室市総合防災訓練が実施されました。根室市防災会議19機関、協力機関12機関、総勢約800名が参加しました。



建物火災を想定した消火訓練の様子

市議団ニュース

共にしあわせ産みだす日本共産党

第1991号

2021年9月12日

日本共産党根室市議団

根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684

実施計画書をもとに、訓練の目的などを紹介します。

目的（実施要綱より）

当市は、国内有数の地震多発地帯であり、これまで幾多の大地震に見舞われ、市民生活や地域経済活動に大きな打撃を受けた経緯や、平成23年3月11日に発生した東日本大震災を教訓として、全国的にも今までの防災対策を見直すことが求められている。

このような状況から本訓練は、今後起こりうる地震・津波災害を想定し、災害発生時における関係機関の迅速な初動体制の構築、また各種の2次災害に対処するため、根室市地域防災計画に基づく通信・避難・消火・救助等の訓練の実施、各関係機関との緊密な連携の強化や、総合的な防災活動の効率的な実施並びに広く防災思想の普及を図ることを目的とする。

また、当市の高率なワクチン接種状況や市内感染者が抑えられている状況下、根室市防災会議構

成団体、公共機関、市内協力機関に限定し、感染防止に配慮した救助活動など、緊急事態宣言下においてもコロナ禍だからこそその訓練を実施する。

災害の想定

今回の訓練では、根室半島南東沖を震源とするマグニチュード8を超える巨大地震を想定。震度は6弱です。津波は花咲港で3・1mとしました。

警察等による避難誘導・広報訓練の様子



消防本部による車両事故救出救助訓練



根室市は、巨大地震がいつ発生してもおかしくない状況にあります。訓練を含め、日頃の備えが重要です。

また、コロナ禍での避難所の運営、十分な避難所確保の課題はたくさんあります。市民のみなさんの不安を少しでも取り除くために、新しい議論においても、大いに議論していく必要があります。